

# 子どもの歌の歌い方について

## —保育者養成における指導から考える—

About how to sing songs of child  
: Thinking from the perspective of teaching in the training  
of child care providers :

松田扶美子 (有明教育芸術短期大学)  
Fumiko MATSUDA (Ariake College of Education of and Arts)  
(キーワード)

保育者養成、子どもの歌、発声法

### 1. 研究の背景

現代において子どもたちを取り巻く歌は様々な形で変化しており、音域も広がり、多様化している。アニメソング、子ども向けテレビ番組で使われている曲、子どものうた、童謡、J-Pop、わらべうたなどである。多様化していることにより保育者養成校で学ぶ学生は発声で悩むことが多い。とくに実習等で子どもの歌の歌い方に悩む学生は多く、中学、高校で学んだ合唱の発声とはかけはなれており、自己流の発声でのどを痛める学生も多い。子どもの歌は裏声、ミックスボイス、地声など曲の雰囲気、音の高さにより使い分けることにより、自然に聞こえる。しかし自分の声を知り、楽しくなる歌い方に特化している指導法は確立されたものがない。細田(2011)は「保育者養成教育においては、保育者になる学生に対して、保育者としての歌声の出し方“大人の発声法”と、幼児に対してどのように歌唱発声を指導したらよいかという“幼児への発声法”という2つの異なった発声を指導する必要がある」と述べている。

### 2. 研究の目的

本研究では子どもの歌を歌うにはどのようなアプローチをすれば歌いやすくなるのか。子どもたちに表現豊かに自然に聞こえるようにするために裏声・ミックスボイス・地声を効果

的に使い分けることで、保育者養成の中で子どもの歌の歌い方についてどのような効果があるか、2021年度「芸術文化論」の授業の中で探ることを目的とした。

### 3. 子どもの歌の発声の仕方の分類

子どもの歌の発声法は大まかに3つに分けることができる。裏声、ミックスボイス、地声である。地声とは一般的に生まれつきの声、普段話すときの声である。ロックや演歌、民謡を歌うときに使われる。ミックスボイスとは地声と裏声が混ざったような中間の声である。ミュージカル、歌謡曲、J-pop 子どもの歌を歌うときに使われる。のどを少ししめて鼻に抜ける声の出し方をする。裏声とは地声から裏返った高くやわらかい声である。のどの奥の軟口蓋を引き上げることにより出しやすくなる。合唱やオペラを歌うときに使われる。これらの3つの発声法を組み合わせた子どもの歌の発声の分類を以下の表1にまとめた。

表1 子どもの歌の発声の分類

| 発声の仕方      | 曲名   |
|------------|--|
| 地声のみ       | おなかのへるうた   |
| 地声とミックスボイス | あくしゅでこんにちは・お正月・かえるの合唱・かたつむり・きこのこ・コンコンクシャンのうた・こぶたぬきつねこ・そうだったらいいにな・ドラえもんのうた・にじ・むすんでひらい |

|               |   |
|---------------|---|
|               | て・ミッキーマウスマーチ  |
| ミックスボイス       | おつかいありさん・アイアイ・大きな古時計・おばけなんてないさ・幸せなら手をたたこう・世界に一つだけの花・森のくまさん・まつぼっくり   |
| ミックスボイスと裏声    | となりのトトロ・こぎつね・たなばたさま・あめふりくまのこ・赤鼻のトナカイ・あさのうた・あわてんぼうのサンタクロース・うみ・おかあさん・茶摘み・手をたたきましょう・とっけいのうた・とんでったバナナ・とんぼのめがね・どんな色がすき・春がきた・春の小川・歯をみがきましょう・ふしぎなポケット・南の島のハメハメ大王・虫の声・やぎさんゆうびん・山野音楽家・ゆき |
| 裏声（前より）       | ぞうさん・君をのせて・とんびもみじ   |
| 裏声            | ゆりかごのうた・赤とんぼ・さくらさくら・翼をください・ふるさと・Believe   |
| 地声と裏声         | 大きな栗の木の下で・シャボン玉・われは海の子  |
| 地声と裏声とミックスボイス | アイスクリームのうた・ありさんのおはなし・歌えバンバン・うれしいひなまつり・おかえりのうた・朧月夜・おはなしゆびさん・おべんとう・思い出のアルバム・おもちゃのチャチャチャ・北風小僧の寒太郎・こいのぼり・さっちゃん・さんぽ・ジングルベル・線路は続くよどこまでも・手のひらを太陽に・ドレミの歌・にんげんていいな・めだかのがっこう・ぼくのミッ        |

|  |        |
|--|--------|
|  | クスジュース |
|--|--------|

(参考：ポケットいっぱいのうた 2018)

表2 発声法により色分けした生活の歌①

|       |       |               |
|-------|-------|---------------|
| おべんとう | おべんとう | うれしいな         |
|       |       | おててもきれいになりました |
|       |       | みんなそろってごあいさつ  |

表3 発声法により色分けした生活の歌②

|      |      |          |
|------|------|----------|
| きょうも | たのしく | すぎました    |
| なかよし | こよし  | でかえりましょう |
| せんせい | さよなら | またまたあした  |

(参考：ポケットいっぱいの歌 2018)

#### 4. 考察

子どもの歌を「芸術文化論」の授業の中で分類すると表1で一番多かった項目はミックスボイスと裏声で81曲中25曲。2番目が地声とミックスボイスと裏声が21曲。曲を分類するために1曲ずつ歌唱した結果、一点ハより低音になると地声で歌いやすく、2点ハより高音になると裏声で歌いやすいことが明らかとなった。その間の1オクターブはミックスボイスで歌うことができる。また表2、表3をもとに曲・音の高さに応じて地声は緑、ミックスボイスは黒、裏声は赤と色で声を使いわけることを指導した。その結果、子どもの歌、童謡は発声法で分類することでより歌いやすくなることが分かった。また歌詞に色を付けることで発声法を視覚的にとらえ、声の換声点を無理なくスムーズに移行して声が出せることが明らかとなった。これらのことにより、学生は発声がスムーズに行え、より表現豊かに無理のない歌い方を修得することができた。この実践を取り入れたことにより歌を楽しむ、音楽を楽しむ意欲へとつながったと確信する。

#### 引用参考文献

ポケットいっぱいのうた 実践子どもの歌簡単に弾ける144選(2018) 教育芸術社